

第22期第15回 佐賀県有明海区漁業調整委員会 議事概要

1 日 時 令和4年9月27日(火) 14時00分から

2 場 所 佐賀県水産会館「大会議室」

3 出席者 佐賀県有明海区漁業調整委員

会 長	西久保 敏
委 員	古賀 善治
”	井口 繁臣
”	中野 正利
”	中島 龍
”	川下 始
”	竹下 泰彦
”	古賀 秀昭
”	井上 亜紀

4 臨席者 佐賀県有明海漁業協同組合

指 導 課 長	中島 光
指 導 課	糸山 亮平

佐賀県水産課

漁業調整担当係長	寺田 雅彦
----------	-------

佐賀県海区漁業調整委員会事務局

事 務 局 長	江口 泰蔵
主 事	本間 智希

5 議題及び議決事項

(1) 有明海における佐賀、福岡両県の漁業調整に関する協定書について(協議)

⇒ 農区への取扱いに関する要望書は、原案の一部を修正し承認された。

⇒ 協定書は、継続審議となった。

(2) 令和4年度全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議に係る各県海区漁業調整委員会の提案議題に対する意見について（協議）

⇒ 原案どおり承認された。

(3) カキの試験養殖について（協議）

⇒ 原案どおり承認された。

(4) 委員会指示の適用除外について（三洋テクノマリン株式会社）（協議）

⇒ 原案どおり承認された。

(5) その他

⇒ 事務局から次回の委員会の日程等について説明が行われた。

6 各議題の説明者及び質疑応答の概要

(1) 説明者

議題1, 2 江口事務局長

議題3 寺田係長

議題4 本間主事

(2) 質疑応答等

【議題（1）について】

（井口委員）最近二枚貝がほとんど壊滅状態で、何らかの方法を見つけて増やしていくことが必要だと思います。このような時でも福岡県側の意見も聞かなくてはなりません。これでは佐賀県も前に進んでいきにくいと感じます。3条はいらないと考えております。

（竹下委員）佐賀県で独自に漁場計画を立てたいというのが最終的な思いなので、その目標に向かってどんなステップが一番いいのか、一概に廃止と言ってもなかなか福岡県がうんとは言わないと思います。最終的な目標に向けてどんなふうに話をしていくか、皆さんの知恵を出してやっていった方がいいと思います。

（古賀秀昭委員）とりあえずは、両県の事務局で協議をお願いします。

⇒ （江口事務局長）とりあえずは両県の事務局で話をします。連調委の開催を11月に予定しています。事務局間の協議を踏まえて、両県の委員さんで議論していただきたいと思っております。

【議題（2）について】

質疑なし

【議題（3）について】

(井口委員) カキ養殖は、各地先で何箇所も行われていますが、六角川から塩田川までの国営干拓の沖合は、底質が泥で柔らかく、自然にカキ礁ができる状況ではありません。また、この辺りは海水が停滞し、いつもプランクトンが発生し動かない状況が毎年のように起きております。カキの垂下養殖を行うことで、何とかノリ色落ち防止に少しでもなればと計画を立てております。

【議題（４）について】

質疑なし。